

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【公開番号】特開 2010-163477 (P2010-163477A)

【公開日】平成 22 年 7 月 29 日 (2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報 2010-030

【出願番号】特願 2009-4464 (P2009-4464)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/08 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/08

C 0 9 J 11/06

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 15 日 (2012.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水分散型粘着剤組成物から形成された粘着剤層を備える粘着シートであって、
該粘着剤組成物は、硫黄を構成原子として含む連鎖移動剤を用いて合成された水分散型
アクリル系重合体を含み、

前記連鎖移動剤は、メルカプト基の結合している炭素原子に結合する水素原子が一つ以
下であるメルカプトタン、または前記炭素原子が共鳴構造をとるメルカプトタン、を主成分と
して含み、

前記主成分とは、前記連鎖移動剤のうちの 50 質量 % 以上を占める成分のことであり、
基材の両面に前記粘着剤層を備える両面粘着シートとして構成されており、

当該粘着シートを 85 で 1 時間加熱するガス発生試験において、硫黄を構成原子とし
て含むガスの放散量が、前記シートの面積 1 cm² 当たり、SO₄²⁻ 換算で 0.043
μg 以下である、粘着シート。

【請求項 2】

前記連鎖移動剤は、メルカプト基の結合している炭素原子上に水素原子を有しない構造
のメルカプトタンを主成分とする、請求項 1 に記載の粘着シート。

【請求項 3】

前記メルカプトタンは、3 級メルカプトタンおよび芳香族メルカプトタンからなる群から選択
される一種または二種以上である、請求項 2 に記載の粘着シート。

【請求項 4】

電子機器の内部で用いられる、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の粘着シート。